

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】令和6年9月10日(2024.9.10)

【公開番号】特開2023-122466(P2023-122466A)  
 【公開日】令和5年9月1日(2023.9.1)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-165  
 【出願番号】特願2022-26196(P2022-26196)  
 【国際特許分類】

C 0 8 L 8 3 / 0 7 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 L 8 3 / 0 5 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 K 3 / 0 1 3 ( 2 0 1 8 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 8 L 8 3 / 0 7

C 0 8 L 8 3 / 0 5

C 0 8 K 3 / 0 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月2日(2024.9.2)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

(A)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原子に結合しているアルケニル基を有するジオルガノポリシロキサンと、

(B)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原子に結合している水素原子を有するジオルガノポリシロキサンと、

(C)熱伝導性フィラーと、

30

(D)数平均分子量が1,000以上である分子内にアルケニル基を少なくとも1つ有するシリコーンレジンと、

(E)付加触媒と、を含み、

前記(A)成分および前記(B)成分の合計量を100質量部としたときの、前記(C)成分の含有量は300質量部以上2,000質量部以下であり、

前記(A)成分および前記(B)成分の合計量を100質量部としたときの、前記(D)成分の含有量は1質量部以上である、

液体状態で基材に塗布されることを特徴とする、15 以上40 以下の温度で硬化可能な2液型熱伝導性シリコーン組成物であって、

前記2液型熱伝導性シリコーン組成物は、

40

(B)成分を含まず、(E)成分を含む第1液と、

(B)成分を含み、(E)成分を含まない第2液とから分配される、熱伝導性シリコーン組成物

。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

(A)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原

50

子に結合しているアルケニル基を有するジオルガノポリシロキサンと、

(B)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原子に結合している水素原子を有するジオルガノポリシロキサンと、

(C)熱伝導性フィラーと、

(E)付加触媒と、を含み、

液体状態で基材に塗布されることを特徴とする、15 以上40 以下の温度で硬化可能な2液型熱伝導性シリコーン組成物に、

(D)数平均分子量が1,000以上であるシリコーンレジンを配合することにより、熱伝導性シリコーン組成物の還元性を向上させる方法であって、

前記2液型熱伝導性シリコーン組成物は、

(B)成分を含まず、(E)成分を含む第1液と、

(B)成分を含み、(E)成分を含まない第2液とから分配される熱伝導性シリコーン組成物である、方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

(A)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原子に結合しているアルケニル基を有するジオルガノポリシロキサンと、

(B)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原子に結合している水素原子を有するジオルガノポリシロキサンと、

(C)熱伝導性フィラーと、

(D)数平均分子量が1,000以上であるシリコーンレジんと、

(E)付加触媒と、を含み、

前記(A)成分および前記(B)成分の合計量を100質量部としたときの、前記(C)成分の含有量は300質量部以上2,000質量部以下であり、

前記(A)成分および前記(B)成分の合計量を100質量部としたときの、前記(D)成分の含有量は1質量部以上10質量部以下である2液型熱伝導性シリコーン組成物を基材に塗布して15 以上40 以下の温度で硬化させる工程を含む、ギャップフィラーの製造方法であって、

前記2液型熱伝導性シリコーン組成物は、

(B)成分を含まず、(E)成分を含む第1液と、

(B)成分を含み、(E)成分を含まない第2液とから分配される熱伝導性シリコーン組成物である、方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

(A)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原子に結合しているアルケニル基を有するジオルガノポリシロキサンと、

(B)25 における粘度が10mPa・s以上1,000,000mPa・s以下であり、ケイ素原子に結合している水素原子を有するジオルガノポリシロキサンと、

(C)熱伝導性フィラーと、

(D)数平均分子量が1,000以上であるシリコーンレジんと、

(E)付加触媒と、

を含む、15 以上40 以下の温度で硬化可能な2液型熱伝導性シリコーン組成物を硬化

10

20

30

40

50

してなるギャップフィラーであって、

前記(D)成分の添加により前記ギャップフィラーの復元性を向上させるものであり、

前記2液型熱伝導性シリコーン組成物における、前記(A)成分および前記(B)成分の合計量を100質量部としたときの、前記(C)成分の含有量は300質量部以上2,000質量部以下であり、前記(D)成分の含有量は1質量部以上10質量部以下であり、

前記2液型熱伝導性シリコーン組成物は、

(B)成分を含まず、(E)成分を含む第1液と、

(B)成分を含み、(E)成分を含まない第2液とから分配される

ことを特徴とするギャップフィラー。

10

20

30

40

50